

第 109 回 小樽商科大学－北海道大学 対面式打ち上げ会 報告書

令和 5 年 7 月 9 日

小樽商大応援団後援会

文責 小西 一郎

令和 5 年 7 月 2 日(日)13 時 00 分より小樽市サンモール一番街で第 109 回 小樽商科大学－北海道大学 総合定期戦・対面式が開催されました。四年振りの小樽での開催を祝し、15 時半からニュー三幸 3 階で小樽商科大学応援団後援会と北海道延齢会主催による大打ち上げ会の 1 次会を開催しました。司会進行は幹事校である商大の小西(S57 入学)。参加者は、島根県、広島県、関東、道内各地からの 18 歳から 80 歳代まで、商大が OB と関係者 44 名、商大生 10 名の計 54 名、北大が OB7 名と北大生 7 名の計 14 名、総勢 68 名でした。

商大応援団後援会の仮屋雄二会長(S54 入学・66、67 代)が開会の挨拶を致しました。

次に北海道延齢会の千川浩治会長(57 代)がご登壇、両校の繋がりには北大の桜星会歌にある瓔珞の如く確固たるものであり、其の交誼により、我々は年齢を問わず青春を謳歌し続けられると述べられました。



【仮屋会長による開会のご挨拶】

【千川会長による開会のご挨拶】

乾杯のご挨拶とご発声を小樽商科大学の穴沢眞学長から頂きました。4 年振りの小樽での対面式開催の喜び、来年の北大寶金総長の対面式参加への期待が述べられました。



【穴沢商大学長の乾杯のご挨拶】





座が暖まってきたところでスピーチ開始です。

トップバッターは、商大応援団の小笠原団長(R4 入学・109代)。小樽に生まれ育った身として、小樽で開催した対面式は格別、全国から集結するOBの暖かき結束は商大の良さ、此れを広く周知していきたいと述べました。

続いて北大の外ノ池団長が登場、挑戦状では商大は応援しない応援団などと意地悪なことを言ったが真意は別、商大とは共に高め合う仲でありたい、と述べられました。

今年も広島から商大の三上了一先輩(S51 入学・63代)が駆けつけて下さいました。



【小笠原団長のスピーチ】



【商大 三上了一先輩のスピーチ】

次に、北大応援団を愛して幾星霜、ご子息も応援団員として此の会に参加されて居た北大の宮内徹也君(S53 入学・79代)からスピーチを頂戴しました。

長万部にあります東京理科大学の鄭稼棋先生にご発言頂きました。専門はスポーツ人類学で、スポーツには社会で起こり得る問題が存在、よってスポーツを通して社会での考え方や生き方が学べる、正にスポーツは社会の縮図であるとのご見解をお持ちの先生は、対面式を初めて見て、ご出身の台湾では校歌はなく母校愛は希薄、対して両校の母校に対する熱い思いに涙を禁じ得なかったと述べられました。



【北大 宮内徹也君のスピーチ】



【東京理科大学 鄭稼棋先生のスピーチ】

仙台からいらっしゃいました小笠原一雄先輩(S46 入学・58代)からは、先の北大外ノ池団長の発言を受けて、応援しない商大応援団は我々の頃も同じとの簡にして要を得るスピーチがございました。



【商大 小笠原一雄先輩のスピーチ】

北大の大谷文昭先輩(S43 入学・60代)は、商大による若人逍遙の歌の前口上の由来説明等を求むとご発言、其の後、毎年恒例、同期の商大浅野百樹先輩(S43 入学・55代)と水産放浪歌を先導されました。続いて、此れも毎年恒例、北大千川浩治先輩が再びご登壇され、ご自身作歌の寮歌を斉唱されました。



【商大 浅野先輩、北大 大谷先輩による水産放浪歌】

【北大 千川先輩 寮歌斉唱】

本別町からいらした大橋良太郎先輩は、いつもと変わらぬお元気な自己紹介エールをお切りになりました。しかし、冬に心不全を患い酸素飽和度 75%、三途の川を渡りかけ闇の中、もう駄目かと思った時に聞こえてきた励ます人の声、其れがフレーフレーに聞こえ、辛くも死地から脱することが出来たという、応援の力についての感動的なお話を頂戴致しました。



【商大 大橋良太郎先輩のスピーチ】

再び暫しご歓談の後、北海道延齢会事務局長の村田勝君(S57 入学・74 代)が閉会前のご挨拶をされ、商大応援団後援会の浅野百樹副会長(S43 入学・55 代)が閉会のご挨拶をされ三本締めで締めました。



【村田事務局長による閉会前のご挨拶】



【浅野副会長による閉会のご挨拶】

最後に、一同で大円陣を組み、北海道延齢会事務局次長の佐野将義君の先導で北大「都ぞ弥生」(1・

5番)、商大第109代応援団副団長松卓弥君の先導で「若人逍遙の歌」(1・4番)を斉唱致しました。



17時45分より、会場をマルジェ・ナオに移して2次会を開催。和田健夫前学長も含めた商大13名と北大3名の合計16名が参加、時間の許す限り杯を酌み交わしました。

